



第1回 まちづくり市民会議(令和元年8月22日)

昨年8月22日に、市から本市の新しいまちづくりの目標や方向性を示す第6次赤平市総合計画策定について、市内関係諸団体から選出された市民会議の皆様にご質問し、令和2年度から11年度までの10年間の計画策定に対し、協議を重ねていただきました。

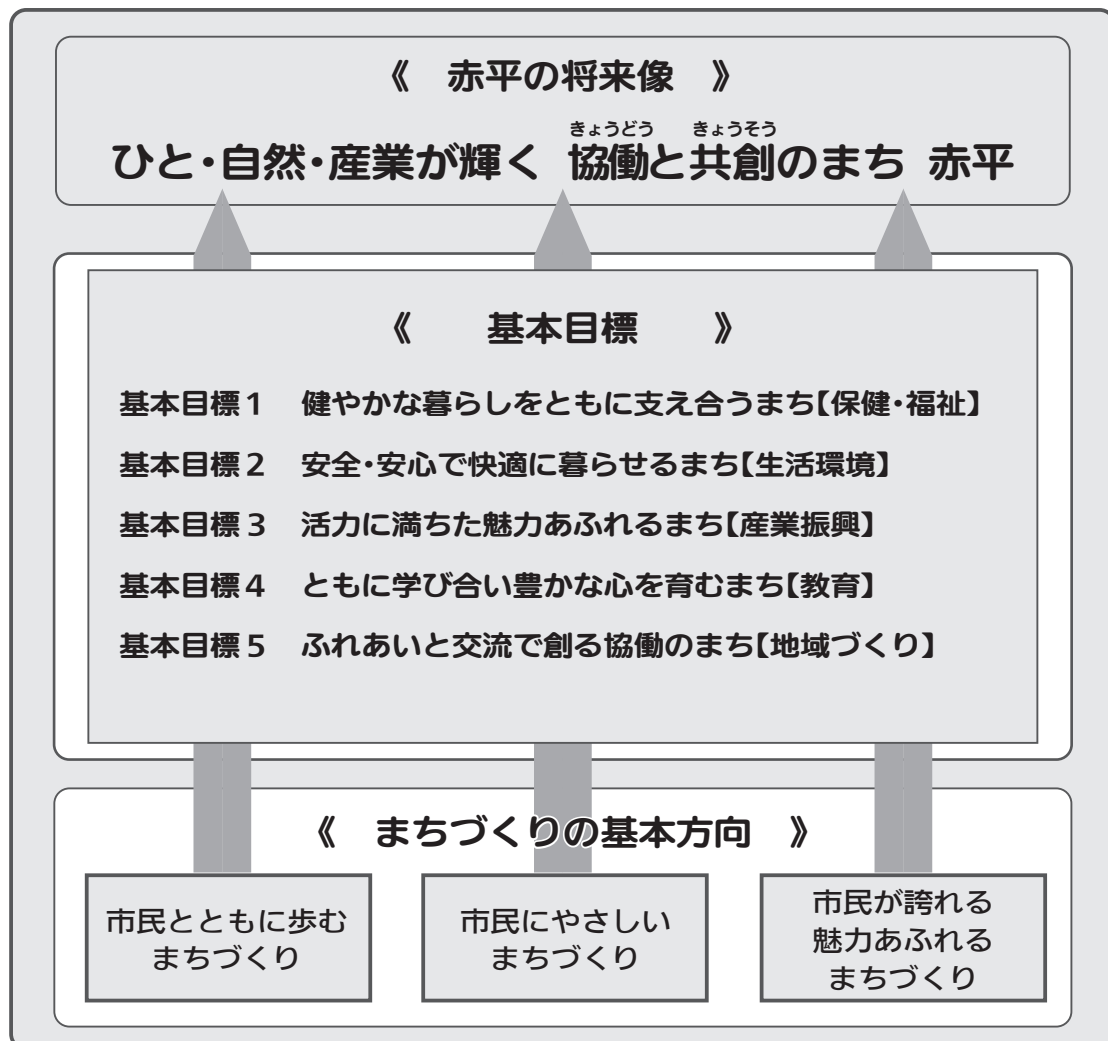
その間、団体との懇談会、パブリックコメントなどを経て、本年3月27日に、市民会議から畠山市長に対し答申がなされ第6次赤平市総合計画が完成いたしました。

第6次 赤平市総合計画 策定



まちづくり市民会議 浅倉会長、石成副会長から
畠山市長へ答申(令和2年3月27日)

赤平市が目指す姿



第6次 赤平市総合計画 (素 案)

パブリック コメント (抜粋)

1月29日から2月14日まで実施しました、「第6次赤平市総合計画(素案)」について、3名の方からご意見をいただきました。寄せられたご意見の概要及び市の考え方について報告します。

【公園・緑地の適正管理】

Q 数を減らすことが大事だと思う。財政、管理する職員も大変だと思い、早急に取り組むべき。
A 公園の利用者も減少傾向となっていており、今後、人口減少による居住環境や地域性を考慮し、公園の配置見直しを図っていく。

【上水道・下水道の保全】

Q 施設の計画的更新は大きなことで早急に取り組む時期だと思う。水道管の取り替えもできるだけ早く少しずつでも進めてほしい。水道管のサビは使用する側ではどうしようもできない。

生きていくためには一番大事な水のことなのでお願いしたい。
A 今後も安全で安定した水道水を供給するため、水道施設の長期的視野に立った計画的な更新に努めていく。

【食フランドの充実】

Q ふるさと納税だけではなく、赤平の米を地元住民が続けて買えるようにできないものか。赤平にいて赤平米が地方で喜ばれることは嬉しい。ふるさと納税で出す方が高いことはわかるが、もう少し考えを広くできないものか。

A 純粋な赤平産米については、高度クリーン米の特別栽培米となるが、数量も限りがあり、地元で安定的に販売することは難しい。今回のご意見を参考に検討させていただく。

【観光の振興】

Q 商店街に日中食事をするお店が少ない。観光客が増えても受入れが大変だと思う。商工会議所と相談して若い人の経営者(飲食業)を育てることは難しい問題だが、大事だと思う。

A 高齢化や後継者不足などが問題となっている。計画の中で新たな店舗の創出や商店街のイ

メージアップに関する取り組み、新製品の開発や改良など商業者の取り組みを支援していくこととしている。

Q 観光と商店街を結ぶのであれば、なぜ、AKABIRAベースのように市街地から離れているところを利用するのか。赤平バイパスの利用車者向けにすると商店街に人が入って来なくなる。AKABIRAベースの件は再検討して早急に結論を出すべき。AKABIRAベースはやめるべき。

A AKABIRAベースについては、通過型となっている当市において、赤平バイパスを利用する方々に、赤平市の魅力を発信するとともに、市内に流入を促す目的として、まちの入り口に位置する現在の場所に設置したところですが、今回のご意見を参考に検討させていただく。

【芸術・歴史・文化の推進】

Q 日本遺産となり、ガイダンス施設の見学者が増加しているようだが、経費が持ち出しでは財政上大変になるので冬期間は閉館にすべき。他市町は冬期間土日だけの開館。他市町を参考にすべき。

A ガイダンス施設についてはオープン後、日本遺産認定の効果もあり、来場者数も増加できている。立坑櫓内部を見学できる貴重な地域資源として、利活用を図っていくが、ご意見については今後の参考にさせていただく。

【行政改革の推進】

Q 職員の資質向上について、職員が少ないのは十分理解している。上司がしっかり下の者を教育すること。下の者はしっかり教わる。こと。早急に対応してほしい。

A 計画の中の「行政改革の推進」があるように、職員の資質の向上を図っていく。

【住環境整備】

Q 地域ごとにコンパクト化した住環境を整備することが必要だと思う。それらに関するシミュレーションを今から検討するべきでは。問題を先送りするのではなく、大胆な構想を提起して議論を巻き起こすべき時ではないか。

A コンパクトシティ化については、当市の地形を考慮すると、いくつかの地域ごとに集約する方法が現実的であると考えている。これまで長く居住されている方も多数おり、それらの方にも

十分配慮した中で検討していく。

【行政機構について】

Q この計画で行政機構、人員数のシミュレーションを市民に明らかにしなければ何が長期計画か、甚だ疑問である。

A 業務内容も複雑化している中ではあるが、事務事業の見直しを行い、住民サービスに支障を来すことなく、効率的な業務体制の構築について取り組んでいく。

【計画全体を通じて】

Q 本計画の到達年度が示されていない。何をいつまでやるかは計画を立てる段階で想定するものであると思うが。

A 各施策をいかに実行していくかが重要であり、5年間の実施計画を策定し、計画的に取り組んでいく。

※パブリックコメントには、右記以外にもご意見をいただきました。貴重なご意見として参考とさせていただきます。パブリックコメントの全文については市ホームページで公開しています。